

がいこくじん ぶんか じょうほうし
外国人のためのくらしと文化の情報誌

kokoka

Life In Kyoto

ふゆごう
2022 冬号

もくじ

わたし す きょうと
01 私の好きな京都

さば かい どう
02 鯖街道をたどってみませんか

きょうと しきょう びじゅつかん
03 京都市京セラ美術館

にほんし
04 日本史のひとこま

きょうげん じだい
(3) 狂言の時代：
たろう しゅじん つま
太郎と主人とこわい妻

あまのはし だて ふゆげしき
05 天橋立の冬景色

06 kokoPlaza Letter

07 kokoka オープンデイ

01 私の好きな京都

京都総合格闘技ブラジリアン柔術道場 MIBURO (ミブロ)

ハーヴィー リアム

私は現在「京都総合格闘技ブラジリアン柔術道場 MIBURO」でブラジリアン柔術を約6ヶ月トレーニングしていて、京都での暮らしの重要な部分になっていると感じています。私は以前オーストラリアで1年間ブラジリアン柔術をトレーニングしていて、日本でもトレーニングを続けたいと思っていました。初めの頃は、道場で上手くやっていけるか心配でした。トレーニングのスタイルや全体の雰囲気は私に合うかどうかともわかりませんでした。トライアルレッスンを受けた後、そこが私に合う場所だとわかりました。トレーニングは素晴らしく、道場の皆さんはとても歓迎してくれました。私はそこで多くの外国人がトレーニングしていることにも驚きました。

京都で生活しながら、大学で勉強し、京都市国際交流会館で2ヶ月集中のインターンシップにも取り組みました。かなり忙しかったのですが、堅実にトレーニングし、トレーニングから沢山の物を得たように思います。私にとって、MIBURO はブ

ラジリアン柔術を学ぶ場所だけではなく、運動し、ストレスを発散し、さまざまな経験を持った人々と付き合う場所となりました。概して、MIBURO は私がい

るべき場所になっています。私にとってそのクラブを特別なものにしてきているのは MIBURO の仲間たちです。地元の人々も沢山いて、京都府外から来ている生徒もいて、外国から来ている人々も沢山のいるので、京都の人口構成とよく似ています。そうは言ったものの、お互いを高めようとする強い共通の気力があり、道場の皆さんの心をひとつにしています。

トレーニングの後、私は道場のメンバーにも人気がある、近くの銭湯の梅湯に行きます。実は、銭湯のオーナーと従業員の一人はその道場でトレーニングしています。銭湯のオーナーはとても親切で、銭湯の外でホテルを見せてくれて、私にとって京都での特別な思い出になりました。

私は MIBURO での経験と京都での生活を続けていくことを楽しみにしています。

京都総合格闘技ブラジリアン柔術道場 MIBURO HP: <http://miburo-kyoto.com/>



02 鯖街道をたどってみませんか

いけみやぎ やすこ
池宮城 安子



三丁町の家並み

鯖街道をたどってみませんか。徒歩でも車でもかまいません。鯖街道のルートはいくつもありました。

とくに若狭湾の小浜から京都の玄関口である出町には多くの海産物が運ばれました。そのルートで有名なのが若狭街道と針畑越です。

若狭街道を小浜を起点にたどってみましょう。「京は遠ても18里」と京は遠いと言っても18里(約70km)ほどの距離でそれほど遠くはないと健脚のセオイ(鯖や海産物を運んだ人=背負)たちが街道を行き来しました。

セオイたちは和服の黒い上着と同じ黒色のズボンをはき、足もととはたびにぞうりでした。熊川宿資料館(宿場館)にその装束をした等身大の人形があります。

セオイは竹籠の底に笹をしいて鯖をのせ体温で鯖がいたまなように背中にござをあてていました。一塩した鯖は一昼夜かけて京に運ばれ、ついたときはちょうどいい塩梅の美味しい味になっていたそうです。

小浜をでて次の地点が熊川宿です。ここは海産物の

集散地でした。今も当時の面影を残す長い街並が残っています。熊川宿の次の地点は朽木村です。

国道をドライブしていてスツと村の中に入るとにわかにはどかな風景が広がります。村の中心に1933年に建てられた洋風建築の丸八百貨店が残っていて観光案内所になっています。そこで生まれ村の移り変りを見てきた女性たちが訪れる人に昔の暮らしを語ってくれます。街道を通ってきて出町につくと出町橋にそよぐ柳の木々や杵形市場、そして人波に京の賑いが感じられます。

最近、若狭街道とは別の針畑越のコースも注目を集めています。毎年5月鯖街道ウルトラマラソンが開催され、ランナーは小浜のいづみ町から針畑峠を越えて京都の賀茂大橋下公園まで走りま

す。また鯖街道体験ウォーキングが5月に行われ、2日間かけて峠越えをして京都にたどりつきます。マラソンやウォーキングを通して人々はセオイの歩んだかつての道をたどっています。



丸八百貨店 (1933年)



鯖街道体験ウォーキング

03 京都市京セラ美術館

ふるた とみよし
古田 富好



平安神宮やロームシアター京都が立ち並ぶ岡崎界隈に京都市京セラ美術館はあります。1933年に開館し日本のみならず世界からの美術品が展示され、年間入場者数は数十万に達します。1964年にはルーブル美術館からの「ミロのヴィーナス像」が特別展示され、大変な混雑のなか私を含めて93万人も見学しました。

2000年には別館がロームシアター京都の東隣に開館しました。2020年には本館をリニューアルオープンし、これまで通りにするのではなく未来と京都

をつなげるように、新しく設計・改造したとのことです。展示室は増え、広々としたホールを通り過ぎると、ガラス越しに日本庭園と借景した東山を望めるなど、多くのインスタ映えするホットスポットがあります。

また、京都に簡単に来られない遠方の皆さんは、オンラインで美術館所蔵の名品を楽しめます。「留学生おこしやす京都PASS」を持っている留学生は、7~8月、1~2月にはコレクションルームに無料で入場できます。

意外に知られていないのが、施設利用で、美術・書道などのグループで出展することができます。利用状況は同館ホームページにアップしてあります。観光シーズンは直ぐに予約がいっぱいになるので、早めの申し込みをお勧めします。



04 にほんし 日本史のひとこま

(3) 狂言の時代：太郎と主人とこわい妻

いしはら けいこ
石原 啓子



「附子」 茂山狂言会 提供

しょうがつ にほん こてんげいのう だいひょう のう きょうげん
正月には日本の古典芸能の代表である「能・狂言」
の番組がNHKで放映されます。能も狂言も600年
いじょう れきし おもおも ふんいき のう ちが
以上の歴史をもちますが、重々しい雰囲気のと違い、
きょうげん きげき にもんげん ほんしやう こうどう
狂言は喜劇です。しかもそこでは、人間の本性や行動
がのまに描かれ、位の低い者が上の者を皮肉つ
たり、あざ笑ったりします。また、妻が夫を大声での
のしり、時には暴力さえふるう場面が登場します。

きょうげん せいりつ せい き にほん のうぎやう
狂言が成立した15世紀ごろの日本では、農業や
しゅこうぎやう けいざいかつどう かつぱつ しよみん ちから
手工業などの経済活動が活発になって、庶民が力をつ
けていました。彼らは権威や権力をそれほど恐れては
いませんでした。

ぶす えんもく だいじ
「附子」という演目があります、大事にしている
砂糖を、召使いの太郎たちに留守中に食べられること
を恐れた男が、「これは附子という猛毒だ、食べたら
死ぬ」と彼らに言って出かけます。この時代では砂糖
は貴重品だったのです。

しかし、太郎たちはそのうそを見抜き、砂糖を残ら
ず食べてしまいます。その上で、彼らは主人が大事に
している茶道具などをわざと壊し、帰ってきた彼に
大泣きをしてみせるのです。「道具をこわしたお詫び
に「毒」を食べたのに、なぜか死ぬません」と。

怒った主人が『やるまいぞ！やるまいぞ！』と叫び
ながら二人の召使いを追いかけて、幕となります。

また、このころは男性は尊く、女性は卑しい、と
いう儒教の道徳がまだ一般になっていなかったた
め、女性は自分の感情をすなおに表現することがで
きました。



「花子」 c Halca Uesugi

「花子*」という演目では、愛人を持つ夫ができて
ます。彼は妻をだまし、花子という女に会いにゆきま
す。このことを知った妻は嫉妬と怒りをむき出しにし
ます。男は震えあがり、彼をこらしめようとする妻に
追いかけてまわされるのです>(*古い読み方で『はなご』。
現在では『はなこ』と読む。)

でも、これは16世紀ころまでの話。18世紀の演劇
である歌舞伎の舞台では、従順と自己犠牲をモラルと
しておしつけられた妻が、夫の横暴にたえ、泣く場面
がひんぱんに出てきます。

何ということでしょう！日本の女性の地位はその間
に低下したのです。それは21世紀の現代日本の男女
の地位にも、残念ながらまだ影を落としています。こ
れからの日本は「狂言の時代」よりも、さらに自由で
平等な社会になりたいものです。

きょうげん たの
狂言を楽しむには、ま
ずはYouTubeのBilingual
Kyogen "Busu"をどうぞ。
京都には能・狂言のため
の劇場がいくつもありま
す。私は京都御苑の近く
の金剛能楽堂で、「附子」
と「文相撲」を見ました。



05 天橋立の冬景色 横田 花音

冬を京都で過ごしたことがある方はご存知かと思いますが、盆地のため12月から2月にかけてまで冷えるほど寒いのが冬の京都です。そんな寒さも忘れてしまうほど美しい場所があります。それは、京都の北部・宮津市にある「天橋立」です。

天橋立は、宮城県「松島」・広島県「宮島」とともに、日本三景の一つに数えられる有名な場所です。全体の長さは、およそ3.6kmに細く伸びる砂州に、およそ5000本の松が生いしげっている珍しい地形です。この地形は、何千年もの歳月をかけて自然がつくりだした神秘の造形です。その独特な地形は、

天にかかる橋のように見えることから「天橋立」という名前がつけました。

天橋立には南と北の二つの展望所があります。人気展望台である傘松公園からは、北側の天橋立を一望でき、天橋立を股の間からのぞくと天地が逆転したように見える「股のぞき」発祥の地としても有名です。その股のぞきをしたときの眺めが、天橋立



が昇り龍のように見えることから「昇龍観」と呼ばれる景色を、この傘松公園から楽しむことができます。もう一つの展望台の天橋立ビューランドは、文珠山山上にあり、南側から天橋立を一望できます。この展望台から股のぞきをするとその眺めは、天橋立が天に舞う龍のように見えることから「飛龍観」と呼ばれている景色を楽しむことができます。夏でももちろん美しい景色を見ることはできますが、冬には、冬でしか見れない壮大な雪景色を見ることができます。天橋立に植えられている一本一本の松に雪が降り積もる姿はまるで水墨画のように美しい景色です。この雪景色は、日が昇るとすぐにその降り積もった雪が溶けてしまうことから「幻の飛龍観」と呼ばれており、冬でも多くの観光客が訪れます。多くの人々を魅了している京都の冬の絶景スポット「天橋立」に、機会があれば一度訪れてみてはいかがでしょうか。



06 kokoPlaza Letter

『忍者まるごと辞典』

土屋晴仁（著）、坂本真実子（訳）、IBC パブリッシング、2018

日本の長い歴史を、裏で密かに動かしていた謎の特殊部隊、「忍者」。様々な術を使って、姿を消したり水面を歩いたり、時には空も飛んだり(!?)と、彼らの特別な能力は多くの物語でも語り継がれています。この本は、そんな忍者にまつわる歴史や思想、忍者の特技や道具について解説しています。日本に来たのに忍者がいない！と嘆いたあなた。いえいえ、今でも地名や伝説、そして習慣や生活様式など、忍者に関わるものはたくさん残っているんですよ！この事典を読めば、あなたも最強の忍者になれるかも！



kokoka 2階にあるブックスペース「kokoPlaza（ココプラザ）」には、日本や外国の文化を紹介した本や、日本の生活（法律、ビザ、教育、子育て、防災など）について知る本、日本語学習のための本などがあります。ぜひ利用してくださいね！

【オープン】9:30～17:00

【クローズ】月曜日、月末最終開館日、年末年始

【TEL】075-752-1187

【FAX】075-752-3510

※本の貸し出しはしていません。

07 kokoka オープンデイ

しゅう りさ
周 慧華



Life In Kyoto

がいこくじん
外国人のためのくらしと文化の情報誌
ねん ふゆごう
2022 年 冬号

こうざい きょうとし こくさいこうりゅうきょうかい
(公財) 京都市国際交流協会

TEL : 075-752-3511

FAX : 075-752-3510

E-mail : office@kcif.or.jp

〒 606-8536

きょうとし さきょうく あわたくちとりいちよう
京都市左京区粟田口鳥居町 2-1

ちかてつ どうざいせん けあけえき とほろつぶん
地下鉄東西線 [T09] 蹴上駅より徒歩 6 分

かいかんじかん 9:00 - 21:00 きゅうかんび げつようび
開館時間 : 9:00 - 21:00 休館日 : 月曜日

げつようび しゅくじつ ばあい へいじつ
(月曜日が祝日の場合、その翌日の平日)

わたし ちゅうごくしゅっしん ことしはじ
私は中国出身で、今年初めて「kokoka オープンデイ」に参加しま
した。中国料理の中華クレープ(煎餅菓子)、伝統楽器と踊り、遊
びのジェンズ(毬子。形はシャトルコックに似ていて、脚で蹴って
地面に落とさないようにするという遊び方)などを見たり遊んだり
して、凄く懐かしくて故郷の事を思い出しました。異国の日本なの
に親しみを感じて、温かい雰囲気にも包まれました。私と同じような
気持ちを感じる人は少なくないでしょう。

このイベントは、他の文化を体験し、理解を深め、良さを認める
いい機会だと思っています。「Life in Kyoto」のボランティアとして、
紙芝居を実際にやってみました。初めて接触しましたが、子供達の
楽しんでいる様子を見ると、もっと楽しませるように心を込めて
ものがたりよあことくせきかんけいひとたの
物語を読み上げる事ができました。国籍に関係なく、人を楽しませ
るものはいっぱいあるという感想が浮かびました。

ことし ひなんしゃ ちゅうしん へいわ
今年ウクライナ避難者を中心としたイベント「ウクライナに平和
を」で、多くの国の人が「戦争反対」などのメッセージを青と黄色
のハート形のノートに書いて、パネルにあった幹と枝だけの木にど
んどん貼りました。みんなの思いがこもった一つ一つのハートが
はっぱとなり、平和への祈りがウクライナに届くように生い茂った
大樹になりました。ウクライナに一刻も早く平和が来ますように！

<https://www.kcif.or.jp/web/jp/publications/#lifeinkyoto>



オンラインでも読むことができます。

バックナンバーも公開中です。

へんしゅう
LIK 編集ボランティア

いしはら しえな いしはら けいこ いくた ゐのる いけみやぎ やすこ
石原 詩恵奈 / 石原 啓子 / 生田 稔 / 池宮城 安子

いちのみや けいこ おかもと けいすけ かなや ちなみ かわさき まさし
市宮 景子 / 岡本 圭介 / 金谷 千菜美 / 川崎 雅司

このみ きこたに ひとみ さとう みな さわだ あつみ
古園 美樹 / 小谷 仁美 / 佐藤 未奈 / 澤田 淳美

すずき ひでとし しゅう りさ にしき みえ ふじた
鈴木 秀利 / 周 慧華 / 西木 美恵 / 藤田 リサ

ふるた とみよし まちの よういち まつお ゆきや みずの ひろし
古田 富好 / 町野 陽一 / 松尾 有希也 / 水野 裕司

やぎ としゆき ゆざわ きみお
八木 俊幸 / 湯澤 公朗 / YU YANGHONG

よこた かのん
横田 花音 / LIN HSIU FENG